

地藏堂 横浜市青葉区市ヶ尾町 1628-12

本尊は地藏菩薩像

千日の托鉢によって建立されたために「千日堂」ともいう。毎年11月30日には、「お十夜講」が行われ、鉦や太鼓を打ち鳴らしながら念仏を唱える双盤念仏が伝わっている。この双盤念仏は江戸時代中期から始まったといわれ、横浜市の無形文化財に指定されている。

旧大山街道を下って行くと庚申塚が見える。5体2列に並んでお地藏さまと庚申塔が建っている。前列端の庚申塔には不動明王像が彫られ、向かって左には「大山みち」、右には「江戸みち」と彫られており、道標にもなっている。しかし、不動明王像の足元に三猿が彫られているので庚申塔とも推測される。



歴史を感じるお地藏様



前列の左にある庚申塔



参道



本堂



左に大山みち、右に江戸みちと彫られている